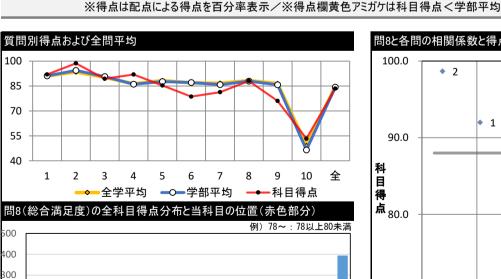
千葉大学

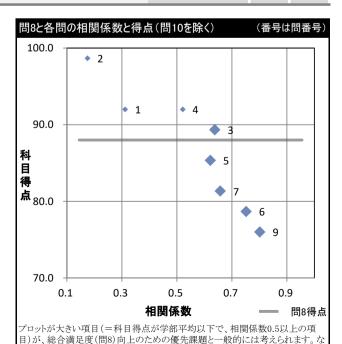
科目名	複素解析(3)			履修者数	58
教員名	松井 宏樹			回答数	15
時間割コード	G171510003	曜日時限	火4	回答率	25.9%







 $\begin{smallmatrix} & & & & & & & \\ & & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & \\ & & & & \\ & & & & \\$ 



お、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

200

100

Ω

## 千葉大学質問種別② 2022年度 2ターム

052638B

科目名	複素解析(3)			履修数	58
教員名	松井 宏樹			回答数	15
時間割コード	G171510003	曜日時限	火 4	回答率	25. 9%

※ 原文をそのまま掲載しているため、誤字・脱字がある場合があります。

## 質問11 <自由記述>この授業でよかった点

- ・必要なところ、重要なところをかいつまんでの説明や生徒に問題の回答を指名した際に分からなくても誘導をわかりやすく説明する箇所があり、理解の助けになって良かったと思う。
  - 全体的に良かったです。
  - 板書が見やすい
  - 分かりやすく教えようよしているのがよく分かる
- ・説明自体はわかりやすく、高校の感覚を超越している難しい部分へのサポート的な説明はありがたく感じた。単純な積分計算などの、手を動かして学ぶことが必要な単元(範囲?)にはレポート課題がついたおかげで、試験に向けて対策もやりやすかった。
- ・説明などが丁寧でとても良かったです。また、複素の世界の面白さを授業で触れていたのがよかったと思います。
  - ・メディア授業のクオリティが素晴らしいと思いました
  - ・わかりやすかった
  - ・先生の人柄(難しい内容でも気負い少なく行けたと思う)メディア授業のクオリティ

## 質問12\_<自由記述>この授業をよりよくするために改善すべき点

- ・授業中に例題をもっと解いて、先生と一緒に問題の解き方を教わった方が効果的だと思いました。
- ・結局は自分含め学ぶ側な気もするのでなんともだし、期末試験をまだ受けていないのでわからないが、レポート課題はもう少しあってもいい気がする。留数定理あたりとか時にそう感じる
- ・強いて挙げるならば、演習でしょうか。 教科書付属の練習問題などから宿題的に指定したりするのもよいかもしれません。
  - 教科書をマセマにする
  - ・課題の量を増やしてもいいと思う